	章 項 目	特 記 事 項	17 化学物質の濃度測定	(1. 5. 9)	8	1 補強コンクリート	ブロックの種類 (8.2.2.3、5、		
工事名 東鷲宮駅東口立体施設整備工事(建築)	① 適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事管理指針(国土交通省監修)(参考図書)		対象化学物質 判定基準 備者		ブロック造	断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) む 2-4呼び寸法(mm) 化粧の有無 適用箇所	僕考	
特記仕様書	- m	※建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備誤監修 令和4年版) なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、		ホルムアルデヒト	2		※空洞ブロックC(16) ・無 ・有 ・無 ・有 ・無 ・有	=	
	製	適用する基準等を決定する。		エチルベンゼン 3.800 μ g / m 3 (0.88ppm) 以下 製算は2.5℃ スチレン 220 μ g / m 3 (0.85ppm) 以下 以下 パラジクロペンゼン 240 μ g / m 3 (0.94ppm) 以下			モルタルの調合(容積比)※標準仕様書表8.2.1による ・セメント():砂(各部の配筋 ※図示		
I 工事概要	② 条件明示事項	保険の種類 (1.1.3) ※法定外の労災保険(工事に従等する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの) ※建設工事保険等(工事目的物及び工事材料等を対象とするもの)		測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。	;		日地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで光填する ※図示による ・	範囲	
1. 工事場所	* 項	※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間		①検体の採取方法 ※吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法)	ブ ₂	2 コンクリートブロック		3. 2~7)	
2. 敷地面積1 827. 46㎡	③ 工事実績情報システム	※行う (請負代金額500万円以上, 10日以内に登録) · 行わない (1.1.4) [1.1.8]		②アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出	0	帳壁及び塀	斯面形状及び圧縮強さ 正珠厚さ ギジュール呼び寸法(mm) による区分 佐坂 佐城 佐坂 佐坂 佐坂 佐坂 佐坂 佐坂 佐坂 佐坂		
3. 工事種目 (建物概要) エレベーター棟新設工事	コリンズへの登録	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。		法によって採取し、高速液ケクロマトグラフ法(以下HPLC)により行う。 トレエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロベンゼンは、 固相吸着/溶媒施出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて	2		・空洞ブロックC(16) ・ 郷 ・有 ・型枠状ブロック 20 ・無 ・有	=	
・エスカレータ 落下防止フレーム新設工事 ・シェルター新設工事	4 週州区分	・		回伯以海ノ海珠両山広、回伯以海ノ加熱配着広、谷路床収広のいりれかを用いて 採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。 ③パッシブ法	Ă		モルタルの調合(容積比)※標準仕様書表8.2.1による ・セメント():砂(塀に用いるブロックの正味厚さ	()	
y at 1 y 9) HA ata 7.	5 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 (1.1.7)		ホレムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトブラフ法(以下GC)あるいはAHMT一吸光光度法のうち採取機器に適応	L		壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 / ※図示 各部の配筋 ※図示		
	6 施工に注意を要する	・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。 ・ 本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 (1.1.12、13)		した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、 パッシブ探取機器により探取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適応した	N	3 ALCパネル		4. 2~5)	
	区域等	及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物		分析法による。 測定対象室 ※監督員の指定する室 ・図示	ネ ゚	7 7 7 7 7 7	区分 単位荷重 (N/m) 厚さ 幅及び 耐火性能 構法の利 正荷車 負荷重 (mm) 長さ (時間)		
		·		測定箇所数 ※() 箇所 · 図示 測定時期 ※工事完了後	及		・外壁用 ・一版 ・ 図示に ・ A種・B	種	
	7 工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 (1.2.4) [1.6.5] 埼玉県電子納品運用が イドライン ※適用する(CD-R又はDVD-Rで1部提出) ・適用しない	18 中間検査	報告書 ※2 部 中間検査 ※行う(埼玉県建設工事検査要綱第4条) ・行わない (1.6.2)[1.5.1]	押		- 間仕切・一般 - 単用・コーナー・恵丘	i · E種	
	8 電気保安技術者	適用する (1.3.3) [1.3.1]	10 平間快量	中間検査実施回数 () 実施段階 () 監督員の指示による 中間検査実施回数 () 実施段階 () 監督員の指示による 中間検査政績評定 ※対象外 ・対象 (埼玉県建築工事成績評定要領第2)			・屋根用 - - ・ ・ ・ の示に・1 ※F種		
	9 施工条件	施工時間 (1.3.5) ※行政機関の休日に関する法律(\$63第91号)に定める行政機関の休日以外とする。	19 完成図等	監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第 1 (1.7.1~3) [1.6.1~3]	形		- KH - よる · 2		
		ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 以下の期間を除いた現場閉所日数で割合が28.58(8日/28日)以上であること 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間		に示す書頭を原則電子データで提出する 完成図等の種類及び記入内容	セー		バスルの相互の接合部/挿入する耐火目地材 外態・屋根パネルの構法 建築基準法に基づ孝定まる風圧力の(・1・1.15・1.3) 倍の耐風圧性能		
		指定期間() 施工時間以外の施工条件		完成(竣工)図(※監督員が指定した設計図面に完成時O状態を表現したもの) 図面情報電子化媒体 ※CD-RスはDVD-R、1部	9		パネル幅の最小層度を30cm未満とする場合・ 目均幅		
		・図示による		CADデータの形式 ※SXF(sfc) · DXF · J## (埼玉県建築工事図面情報電子を媒体作成要領による。GADデータのパージョンは監督員と協議する。)	#5 		パネル短辺小グ相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅パネル接名 パネルと他部材との取合い部の目地幅 (mm) ※10~20	- 1	
4. 工 期 契約工期 契 約 日から令和 年 月 日まで	10 施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害 を防止するために必要な措置を講ずべき者(統括安全衛生管理義務者)とする。(1.3.7)		保全に関する資料(通常取扱いに主意を要するものの使用方法を解説する) 完成写真(埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する) 埼玉県電子納品運用が (ドラヤン、※適用する(10-R又はDVD-Rで提出)・適用しない	Ï	4 押出成形セメント板	外壁、間付切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 適用する 適用し ECPの種類等 (8.5)	5 2~5)	
共通仮設費率の算定に用いる工期 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで		建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 (1.3.10)		撮影者 ※監督員の承諾する撮影者 · 撮影箇所 ※外部()内部()	🖣	(ECP)	パネルの種類 形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 備考	5.2 0)	
現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場施工期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで	① 発生材の処理等	引渡しを要するもの (1.3.11) {1.1.1s} ※無し(全て構外搬出適正処理) ・有り(※図示・)		着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する ・埼玉県建築工事写真作成要領別表5			・ 外壁パネル ・ D (デザインか 本か) ・ 50 ・ 60		
ただし、仮設工事等は施設との協議による		注 a) 発生材のうち特配により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理 のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。		原本及びアルバムを各1部提出 原本 :電子媒体: 撮影時のJP:60 及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出 バネル人り (外部全景) 完成写真 ・要 ・不要		/	- 関仕切壁パネル - D (デザインパネム) - 50 - 60 - B種 - C 155 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	-	
※「3.工事種目」全てを工事範囲とする。		c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促 進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下		施設CADデータ ・更新して提出 ・更新しない			・T (タイルペースパーネル) 60	_	
・ 「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。		「建設リサイクル法」という。) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」そ の他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。	20 保証書	防水工事 ※屋上防水 ・外壁防水 ・金属屋根 · {1.6.4} 建物引度し日から10年間、受淀者、施工者、材料メーカ-の3者連名とし2部提出する。			外壁パネルの工法における耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の耐風圧性能		
2 仮設工事 ※工事範囲全で	13 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の 相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、	21 その他	上記以外 1 部提出 ・予備材料 ※監督員の指示による・			パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合		
3 土工事 ※工事範囲全て		調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。		・下請契約 ※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。			耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部		
4 地業工事 ※工事範囲全で	□ 環境への配慮	連築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の長賃 (1.4.1) [1.4.3] 及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単坂積層材、MDF、					を考慮した強度を確認の上、施工計画書を提出する。	_	
5 鉄筋工事 ※工事範囲全で		パーティクルポード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保 温材、緩循材、断熱材、涂料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレン					札めげ及び火さ込みの大ささ 雅山朝心の値	_	
6 コンクリート工事 ※工事範囲全で		を発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書 こ規定する「ホルム アルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。			1/1		7 利に孔あけ 短辺	=	
7 鉄骨工事 ※工事範囲全で		② 接着利及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない 材料を使用する。③ 接着利は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル	2 1 足場その也	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、 (2.2.4) 同ガイドラインの別紙 1 「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」	Kali	1 アスファルト防水	を設ける場合 長辺 500mm以下 300mm以下 300mm以下 24保護防水 (9.2.2~5) (表9.2.2~5) (2 3~9)	
8 コンケリートブ ロッケ・A L. C A [*] + A b ・ 押出成形セメント 板工事		等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、	仮	における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	Rh	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	防水層の種別		
9 防水工事 ※工事範囲全て		ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が 極めて少ない材料を使用したものとする。	立	墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」 (厚生労働省 H30.6.22)による。 ・フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。	光		・A - 1 ※** リステレフマル リステレフマル リステレンマル リステレン リステレン リステレンマル リステレン リステレンマル リステレン リスティー リステレン リステレー リステレン リステレン リステレン リステレン リステレン リステレン リステレン リスティー リン リスティー リスティー リスティー リスティー リスティー リン リスティー リスティー リスティー リン リスティー リスティー リスティー リスティー リン リスティー リン リン リスティー リスティー リスティー アン・アン リン リン アン・アン ア	***	
10 石工事	(5) 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上 のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上	2 監督員事務所	現模 ・ 既存建物内の一部を使用 ・ 構内に新設 m (2.3.1)	🛊		- A - 3 - B - 1 - B - 2 - R - 2 - R - 3 - R		
11 タイル工事 ※工事範囲全て		のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を消たすものとし、この証		 ・構内に新設 ㎡ ・設置しない(下記備品のみ用意する) 			· A I — 1 (材質) ※JIS A 9521によ ※フラットヤーンクロス ・れんが押		
12 木工事		明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面 を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること		備品 (名分相当) ・机・荷子・書棚・黒板・掛時計・寒暖計・長靴・雨合羽 ・保護帽・懐中電灯・墜茶制止用器具・軍手・玄類ロッカー			· A I - 3 (原文) · mm · ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
13 屋根及びとい工事 ※工事範囲全で		② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること		・冷暖再機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター			<u>· B − 1</u> • B − 2		
14 金属工事 ※工事範囲全で		注令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得してハること 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること 販売、保守等の営業体制が整えられていること	3 現場表示坂	※設置する ({1.1.12}による表示 ※要 · 不要) · 設置しない (2.3.1)(1.1.12)			改賞アスファルトルーフィングシートの種類及び享さ ※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による		
15 左官工事 ※工事範囲全で		○ 成功、味すずの高楽序制が望んつねにいること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基 本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の	4 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)			- 大保華 1 株 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分		
16 建具工事 ※工事範囲全で		証明のためのがイドラ行」(林野庁 H18.2.15)に準拠した証明書を監督員に提出する。	5 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (別途施設調整を行うこと)			材料による区分 ※R種 厚さ ※()mm以上 ・		
17 カーテンウォール工事 ※工事範囲全で	16 技能士	(1.5.2) [1.3.3] 適用工事運別 技能検定作業 仮設工事 ②とび作業	6 工事用搬入路 7 仮囲い	※図示 ・			部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.6による JIS A 6013に基づく移類及び厚さ		
18 塗装工事 ※工事範囲全で		鉄筋工事 ・鉄筋組立て作業	8 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。			用途による区分 ・ 材料による区分 ※R種		
19 内装工事		コンクリート工事 ・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ・構造物鉄工作業 ・とび作業	0.44%1.71	配置箇所 ※監督員の指示による ・図示			厚さ ※ () mm以上 ・ 立上り部への断熱材及び絶縁シート ※設置しない ・設置する		
20 ユニット及びその他の工事		3297-57 の9 ALO 48 2299-57 の9 T 事作業 押出成形が314版工事 ・2・25-74 84工事作業 防水工事 防水工事	9 快適トイレ	仕様 ※図示 ・	1		平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 戻タイル張り ※水下 60mm以上		
2 1 排水工事 ※工事範囲全て		· // / / / / / / / / / / / / / / / / /	3 1 埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の種別 (3.2.3)			・乾式保護材		
2 2 舗装工事 ※工事範囲全て		一 FRP防水工事作業 石工事 · 石張り作業	±	- A種 適用場所 () () () () () () () () () (窯業系パネルI類 厚さ()mm 幅()mm		
23 植栽及び屋上緑化工事		タイル工事 ・タイル張り作業 木工事 ・大工工事作業	Ī	- D種 適用場所 ()) 品質 細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) O上限を50%未満とする。			屋根露出防水 防水層の種別		
		屋根及びとい工事 ・内外装板金作業 金属工事 ・銅製下地工事作業 ・内外装板会作業	*	・六価クコム溶出試験 ・行う ・行わない			種別 施工箇所 断熱材 G 位上塗料 - 2-1	_	
Ⅱ 建築工事仕様		左官工事 ・左官作業 ・	② 建設発生土の処理	・陽外搬出適切処理(搬出場所:) (3.2.5) ・構内指示の場所にたい積・構内指示の場所に敷き均し			- フー 1 - フー 2 - フー 2	の仕様	
(1)質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書・建築工事編)令和4年版」(以下、		カーデンウォール工事 ・金属製カーテンウォール工事作業 ・ピル用サッジ施工作業 ・ガラス工事作業		・UCRの受け入れに必要な土質調査を実施する。また、この調査による資料は他工区の工事 へも利用する。			・) I — 1 ※標準仕様書9.2.2(9) 使用量 (舞種) ※アスファルトルーフィング・類の製造所	の仕様	
「標準仕様書」という。)による。 なお、新たな底が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。 (2) 標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、		塗装工事 ・建築塗装作業 ・木工塗装作業 ・ 大工塗装作業 内装工事 ・プラステック系永仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上作業	3 山留めの撤去	鋼矢板等の抜き跡 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる (3.3.3)			- フ - 2 ((運ぎ) (mm) ・ 高日射反射率防水の適用G ※適用する ・適用しない		
それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。 (3) 特記仕様素の表記		ボード仕上 f 工事作業 壁装作業 保温保冷工事作業 排水工事 建築配管作業					対象アスファルトルーフィングシートの種類及び写さ ※標準仕様書 表9.2.8による		
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と ②印の付いた場合は、共に適用する。 ○印と ※の場合は、※印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の () 内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。		舗装工事 ・溶融ペークトペンド マーカー工事作業 ・加熱ペークトマシンマーカー工事作業 植栽工事 ・造園工事作業	4 5 6 7	特記仕権書(構造関係)による			JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分		
(アレン (※) 中の付いた場合は、共に連用する。() ロレ ※の場合は、(**)みを連用する。 3) 特記事項に記載の () 内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。 4) 特記事項に記載の () 内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。		その他 ・ コンクリートプロ:ク工事作業	④ 切り切りりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまりりまり				材料による区分 ※R種 厚さ ※()mm以上 ・ 部分粘溶層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ		
5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等O記載は省略する。また() 内は製品名を示す。 6) 本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和5年2月24日変更閣議決定)」及び、							※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ		
「埼玉県グリーン調達・環境危廉契約推進方針(最新版)」による特定調達品目のうち、「判断の基準」 を消たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択するよう努めるものとする。 なお、[3] 印は設計図書で定めのある品目を示す。			事事工				用途による区分 ・		
なお、「3」中は改訂図書で定のののも語目を示す。 7)注は標準仕機書記載事項で、注意すべきものを示す。			7				AZ XX / / HIRDAT		
								事 名	頁鷲宮駅東口立体施設整備工事 (建築)
							路河	線名川名	市道鷲宮76号線
							I	事箇所	久喜市桜田1丁目地内

 工事名
 更鷲宮駅東口立体施設整備工事(建築)

 路線名
 市道鷲宮76号線

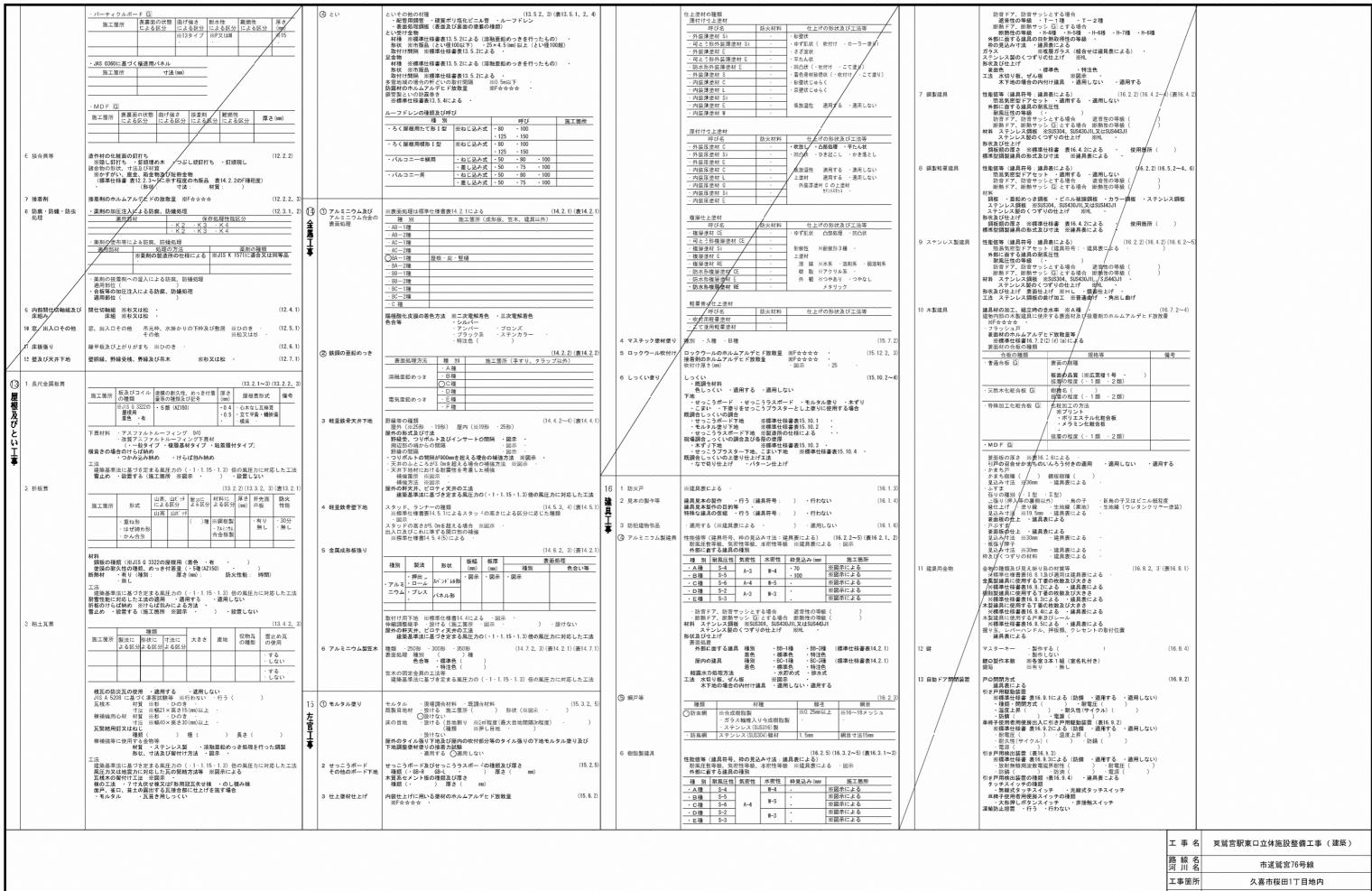
 工事箇所
 久喜市桜田1丁目地内

 図面名
 建築工事特記仕様書(1)

 縮尺
 S= N. S
 図面番号
 A - 1

 改質アスファルト シート紡水 	整線断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 終銀工法及び絶線所能工法の服気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 種類())))) () () () () () () () () () ()	② 塗膜防水⑤ ケイ酸質系塗布筍水	※特定化学物質解害予防規則の対象とならない材とする (9.5.3)(表9.5.1~2) 防水層の理別 施工箇所 仕上塗料 保護層 ・X - 1 接頭・使用量 ※主材料の製造所の仕様 ・X - 2 接頭・使用量 ※主材料の製造所の仕様 ・X - 2 ※連下外壁防水 ・ 適用する・適用しない ・Y - 2 ※厘内防水 ・ 適用する・適用しない ・カレタンゴム系差損防水× - 1の脱気製置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様	5 外壁乾式工法 6 床及び階段の石張り	(床石張 /) ・適用する ・適用しない 石豪亜処理 (床石張 /) ・適用する ・適用しない (階段張 /) ・適用する ・適用しない (珠石張 /) ・適用する ・適用しない (床石張 /) ・適用する ・適用しない - 般目地 ・ 自脚生ルタル ・ 「日地幅・) ・ 質質機の自地モルタル (目地幅・)	3 造作用集成材 [6]	- JKS 1083-6 製材-第6部に基づく広東樹製材 施工箇所	
	- A S I - T 1	⑤ シーリング7 防水工事施工票	下接処理 ・ 図示 下表以外は、標準仕様書表9.7.1による ただし、外壁タイル投着剤強りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの 場合のシーリングは17章による 施工箇所 シーリング材の問題は ・ シーリング材の問題は (記号) 仕上を行わない修工箇所(・図示による・) シーリング材の日地寸法 ・ 図示 ・ ※標準仕様書1.7.3(1)(ア)~(ワ)による ・ 図示 ・ ※部準仕様書1.7.3(1)(ア)~(ワ)による ・ 図示 ・ ※能車付金と成分形シーリング材は、1組の作業延が1 Eに行った施工箇所を 1ロットとして、各ロットごとにサンブリングを行い、サンブリング試料を監督 員に提出すること。 ※設置する(ヶ所) (施工年月日は防水工事施工完7日(手直しは除く)を記入)	7 笠木、甲板等の石張り	(日地區及び宴さ (日地區及び宴さ (日地區及び宴さ (日地區及び宴さ) (日地區及び宴さ) (日地區及び宴さ) (日地區及び宴さ) (日地區及び宴さ) (日地區及び宴さ) (日地区) (日地区) (日地区) (日地区) (日地区) (日地区) (日地では) (日地に) (日本に)		「集成材の日本農林規格」による化粧はり造作事無成材 1 (mm) 1 (mm) 2 (mm) 2 (mm) 3 (mm)	
さ 合成高分子系 ルーフィングシート 訪水		10 1 施工 2 石材等 2 石材等 3 外壁温式工法	大きさ (mm) 大き (mm) 大	のび割れ誘発目地 ター 2 見本焼 試験施工	議五 縁板 歩板 7生版水率による区分 3つのですり 役物 色 両生材の加工車性 解毒 個古 1種 1種 1種 1種 1種 1種 1種 1	4 遗作用単板積屬材⑤	1/2 2 1 1/2 1	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 內壁倉積工法	アンカーの材質及び寸法	12 1 施工一般 2 製材 回	材料のホルムアルデヒド放散量 ※ド本☆☆☆ 又は 標準性様書 12.2.1(1)(9)(b)による ・JAS 1083-5 数材-第5節に基づく (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1) 下地開設材 寸法 等級		- 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 ②	士学藤宁76日始
							<u> </u>	<u> </u>

建築工事特記仕様書(2) 縮 尺 S= N. S 図面番号 A - 2



図面名 建築工事特記仕様書(3) 図面番号 A - 3

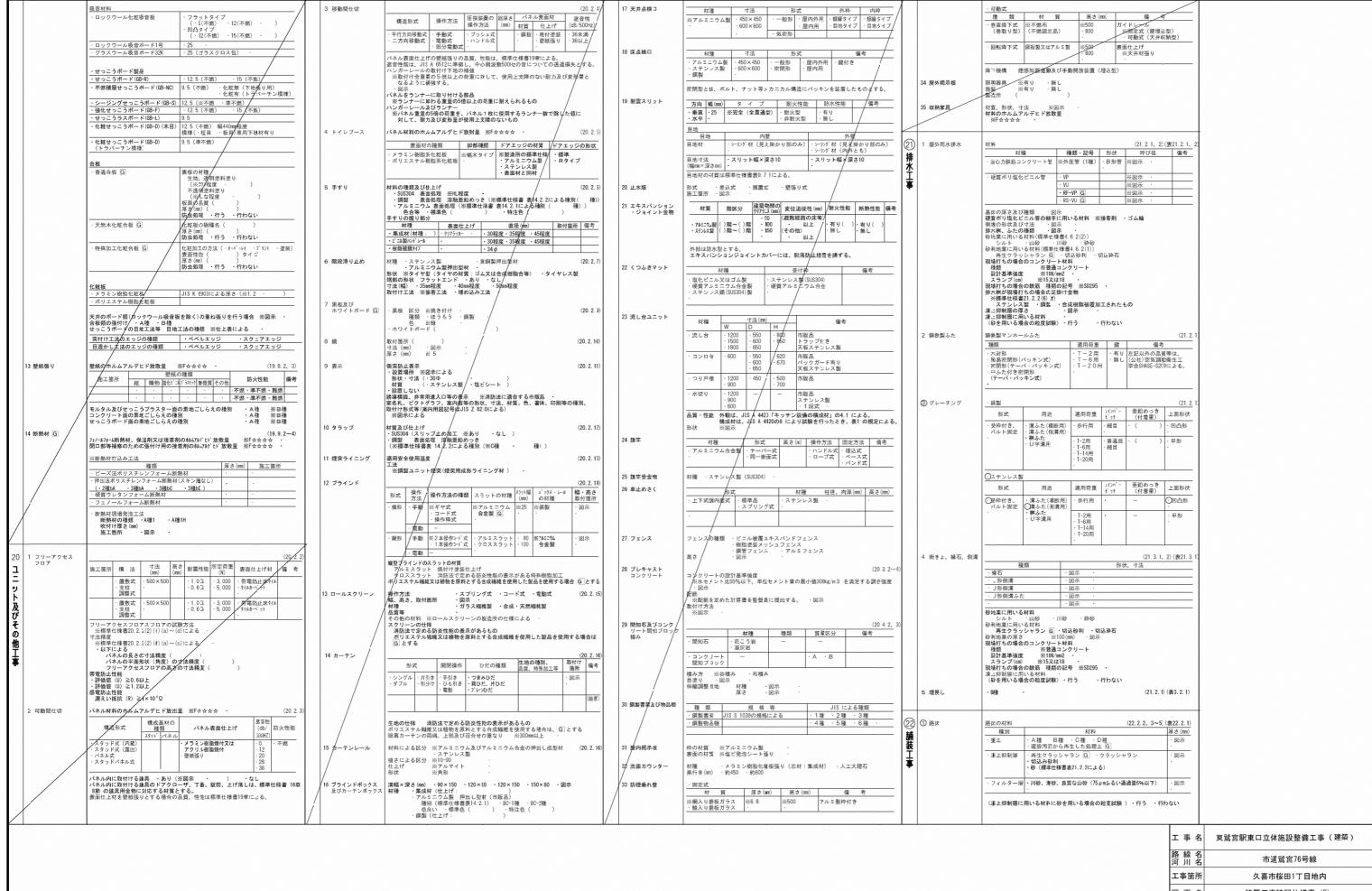
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
14 自閉式上吊り引戸 装置	性能 ※標準仕様書表16.10.1による (16.10.3)(表16.10.1) - 手動開き力 (- 手動開じ力 () ・ 野助区間 () ・ 削削離返し () ・ 削削離返し () ・ 削削離返し ()	① 取付方法、性能等	・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 ・	③ 錆止め塗料塗り	(18.3.2、3) 下地面		<th color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td>備考</td><td></td></th>	<td>備考</td> <td></td>	備考	
15 重量シャッター	シャッターの種類 (16.11.2、3) ・管理用シャッター ・外壁用助火シャッター ・屋内用助火シャッター	テン	水密性 気密性 遊音性 断熱性 耐湿度差性 (°C) ○1.0 ○0.5		対対		- 第二種 - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ -		\neq	
	・ 歴内市の火ンャッター ・防速ラ・ッター 外壁間口部に設ける筆量シャッターの耐風圧強度 () pa 開防力式の種類 ※電動式 (手動併用) - 手動式 安全装置	ウ オ し	耐風圧性 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)		SOP ※A種 - B種 上記以外: B種 上記以外: B種 上記以外: B種 表18.3.6 回り B種 表18.3.6		第一種 ※NOUX 5000 ※No.5 ※第一種 ※NOUX 5000 ※No.5 ※第一種 ※No.5 ***	_		
	急降下制御装置、急降下停止装置、障害物感知装置 (設置箇所・ 発見表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 (設置衛所・ 発見表による	ル 玉	支点関距離(h) 耐風圧性能 ・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20m以下であること	④ 塗装	EP-G C種 上記以外: B植 (18.4.1~18.12.2)	9 合成樹脂塗床	階段部分 ※模様充し 市松敷き 見切り、押え金物 材質、種類、形状等 ※図示 塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (19.4.2、余)	表19. 4. 4~8)		
	管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用領板 「IS 6 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) - JIS 6 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)		- 4mを超える · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		塗装 種別 塗料の種類 ・合成樹脂調合ペロト 木部屋外 ※A種 ・B種 ・ A種 ※B種		種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 「写膜型塗床材 弾性がが樹脂系塗床			
	めっきの付着量 ※212又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカパー、雨掛りに用いる スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1	② メタルカーテン ウォール	性能の確認方法を2年間定方法 ※性能の確認方法を受ける 金属系材料の確認 (37.2.2、3、5、6) (3アルミニウム材・銀材・ステンレス銀材		鉄原面 - A種 ※B種 亜鉛のっき領面		・厚膜型塗床材 ・沸膜流しのベエ虫・平滑仕上げ・厚膜流しのベエ虫・防滑仕上げ・ 原膜流しのベエ虫・防滑仕上げ・ 物脂も砂エ 法 ・沸膜型塗床材 ※平滑仕上げ			
16 軽量シャッター	開閉形式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) (16.12.2~4) 耐風圧殖度 () pa 安全装置 電動シャッケーの陳書物感知装置 (設置箇所 ・ 経具表による ・)	74 12	シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ※図示による ガラスの取付け材料 ・シーリング 種類 (・SR-2 ・SR-1)		 ○ 耐候性塗料塗り(DP) 鉄銀面 一 上塗り塗料の等級()銀 一 上塗り塗料の等級()銀 □ ングリー面及び押出 - A種 B種 C種 □ 		1x* や樹脂系塗床 ・プリル樹脂塗床 (JIS K 5970) よる ※製造所の指定に 塗布量 (kg/mi)			
	(設置箇所 経具表による) スラットの村質の種類 - JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付海量 (※200又よびの・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) - JIS G 3322 (塗装溶融5596アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)		・構造ガスァット 形状、寸法等 ・図示 ・ 関熱す		成形は17-6 成樹脂17-6		表面仕上げ ※产滑 ・防滑			
17 オーバーヘッドドア	** 10 t 324(金銀合権は374) / ドミーンA = 単和口並のうご時候及び時間が めっき代景電 (※A200 ・ スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (16.13.2.3)		見え掛り都の仕上げ (アルミニウム材の場合) 規格等 ※標準仕様書16.2.3による		・ 画等		光水性・溶剤系 集 /仕上げ色 ※標準色・	悪溶剤系		
	セクション材料 による区分 風圧力による 強きの区分 間限方式 による区分 収納形式 による区分 ガイドレール の材料 ※スチールタイプ ・125(1250Pa) ※パランス式 ・スタンダード ド海海亜船 かっき銀版		着色 - 標準色 - 特注色 (鋼材及びステンレス鋼材の場合) ガラス溝の寸法、形状 ※カーテンヴォールの製造所の仕様 - 取付け		- ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) - A種 ※E種 - ・ステイン塗り - とアカバカン塗り - ・オ48万で送り(05)	10 フローリング張り	フローリングのホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書19.5.2(2)による 各二法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆ ・			
	・アルミニウムタイプ 100(1000Pa) ・チェーン式 ・ローハッド形 めっき機転・ファイバーグラスタイプ ・75 (750Pa) ・電勢式 ・ハイリフト形 ・ステンレス ・50 (500Pa) ・バイラカル形 卵板 電動式オーバーヘッドドアの降車物感和装置 (設置指所 ・建具表による)		躯体付け全物の取付け位置の寸法許容差 的直方向 ※土10mm 水平方向 ※土25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の機 ※±3mm		- 木材保護塗料塗り(駅) - A種 ※E種 - 屋上、屋様面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 (3 とする。 クリヤラッカー塗り A種の工程2の適用 - 適用しない - 適用する(着色利: 溶剤系着色剤 - 油性染料着色剤)		単層フローリング ・フローリングボード1等 工法 お神種 ※なら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	±		
18 ガラス	(16.14.2~4)(図16.14.1) 適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さの組み合わせは建具表及び図面による。 フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・図示		目地の心の直り ※0-2m 目地両側の段差 ※2-2m 日地両側の段差 ※2 ※2m 形成型 適用部位、材料等 ※図示による ガラスの取付 材料 ※図示による カラスの取付 材料 ・		ウレタン樹脂ワニスをりの工程10着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステン塗りの工程等 ※製造所の仕様による		厚さ、大きさ ※標準仕様書表19.5/1、3による 仕上塗装 - 塗装品 - 無塗製品 間伐材等の適用 - する - しない フローリングブロック 1等			
	網入り板ガラス、移入り板ガラスの網、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼び による種類 ※雑具表による ・図示	3 PCカーテンウォール	ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4辺支持	19 1 接着剤	じ"馬床シー、ビ"馬床が6、7 A床が1用接着剤の結4767と 放散量 ※Ff☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別		工法 ※約着工法 ・			
	材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに合わせガラスの合計厚さ、特性 による種類 ※建具表による ・図示 形状、平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく駆特性及びショットバック衝撃特性 ・頂 ・		コンクリート 種類 (・普通コンクリート・軽量コンクリート1種・) 品質 設計基準強度(rc) ※30M/mm2 . スランプ 容様接量 . ・普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下	装	・図示・ 標準仕様書19.2.3(1)~(3)以外の下地の工法 ・図示・ (19.2.2.3)		複合フローリング - 天然木化粧複合フローリング - 工法	±		
	・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称、特性による種類 ※雑果表による ・ 図示		・軽量コンケリートの場合 1.8t/m3 ~ 2.1t/m3 単位次量の最大値 ※185kg/m3 鉄筋 拇類記号 ※50295		種類の記号		仕上塗装 ・ 塗装品 ・ 無塗装品 間伐材等の適用・する/ ・ しない 接着工法の場合の不陸緩和材・ ※合成樹脂発泡シート ・ 辺場塗装仕上げ・ ※ウレタン樹脂ワニス塗り			
	破片の状態及びショットパック衝撃特性による種類 ・ I 類 ・ I 類 ・ I 類 ・ ・ M 輸吸収板ガラス 板ガラスによる種類 原さによる種類 ※ 建具表による ・ 図示		補強鉄線の径 mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 ・ シーリング材の種類(目地等) 種類及び寸波等 ※図示による ・ ガラスの数付け材料	4 ビニル床タイル G	接合部の処理 ※熱溶接工法 ・ (19.2.2)	11 畳敷き	・オイルステインの上、ワックス塗り ・生まのままワックス塗り (19.6.2:(種別・A種 ・B種 / C種 ・D種 (畳床:・KT-I・KT-II	表19. 6. 1) : - KT-N)		
	性能・1種・2種 ・ 復勝ガラス ・ 横陽ガラス が料料ガラスの種等及び煙さの組み合わせ並びに増陽ガラスの煙さ		構造ガスケット 形状、寸法等 ・図示 ・ 耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による 断勢材 ② 種類 ()		種類の記号 色柄 寸法 厚さ(mm) 備考 ※KT(コ/よックッラビ・Jack字46) - 無地 - 300×300 / ※2 0 - TT(単原ビ・Jack字46) - 柄物 - 450×450 - 2.5 - FT(植原ビ・Jack字46) - 500×550 - 3.0		下地の種類 ・標準(/様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン G) ・最変及び豊床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散			
	※建具表による ・図示 断熱性による区分 ・		- 種類及び範囲 ※図示による 先付けの材料 - 表面仕上げ材 セラミックタイル - 石材 (・花こう岩 ・大理石) - 譲具枠	5 特殊機能床材	- FOA(景像をピニホ末9/4) - FOB(薄刻画敷をピニホ末9/4) - シート種別 厚さ、寸法、形状 性能 種類	12 せっこうボード、 その他のボード及び	会教が極めて少なかが利を使用したものとする。 衝撃緩和型器 (自表: ・01 ・ C2) MDF、パーディクルボード及び接着剤の ホルムアルデゼド放散器 ※F☆☆☆☆ ・ (19.7.2、3:(
	・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ・図示 日射熱連へい性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性による区分(日射熱進へい性が2種の場合) ・ A類 ・ B類		・ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品に見え掛り部の寸法許容差		・帯電防止床シート (mn) ・帯電防止床タイル (mn) 機関準害者誘導プロ	合板張り	合板のホルムアルデヒド拡散量 ※標準仕様書 13.7.2(2)(4)の(a) ~ (d)の	いずれか		
	・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ・図示 ガラスの留め材及び消の大きさ		辺長 ※±3mm ねじれ、そり ※O-5mm・ 対角線長の差 ※O~5mm・ 曲がり ※O-3mm・ 版厚 ※±2mm 面の凹凸 ※O~3mm・ 関口部内法寸法 ※±2mm 先付け金物の位置 ※O~5mm・ PCカーテンウォールの仕上げ・		- 視覚障害者用床タイル (mm) ック等の突起の形状・ 寸法及びその配列は JIS 「 9251による (mm)		・硬質木色セメント板 回 ・15 ・20 ・25 ・ ・四質水色セメント板 回 ・15 ・20 ・25 ・ ・音通木毛セメント板 回 ・15 ・20 ・25 ・			
	建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ・図示による ・グレイジングチャンネル ※雑具の製造所の仕様による		構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 ※図示による。 製作 PO版の配筋 ※図示による 取付け	6 ビニル幅木	1		木片セメント板	=		
			線体付け金物の取付位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差	7 ゴム床タイル	高さ(mm) ※60 /75 ·100 「厚さ(mm) ※1.5以上 色柄 () (19.2.2)		機総強化セメント板 普通ポード0.8FK 947 2 (無石綿) - 6			
	※		目地の幅	8 カーペット敷き G						
19 ガラスブロック積み	(16,14.5) 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 目地幅(mm) 仲縮調整目地 (位置(mm) (が火性能		・ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水 機能の設置及びガラスの到着処理の強化を行う		/ 織り方 パイル形状 ・ウィルトンカーペット ・カットパイル ・ダブルフェースカーペット ループパイル ・アキスミンスターカーペット ・カット/ループパイル		・火山性ガラス質複層板 ・図示による 繊維板 ・素地ハードポード(・未研磨板(RN)・板・素地ハードポード(・未研磨板(RN)・板	开磨板(RS))		
	-160×160 : 95 -200×200 : 95	13 ① 材料	屋内で使用する途料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)※F☆☆☆・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げに防火材料とする		色柄、※模様のない無地 パイル糸の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種別(・A種 ・B種 ・C種)・ 帯電性 ・適用する 適用しない		スタンダードボード (無処理) ・ 内装用化粧/-ドボード (DE) 厚さ ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ 7 ・ 7・ 7・ 7・ 7・ 7・ 7・ 7・ 7・ 7・ 7・			
	整用金属枠及び補強材 図示による 力骨 材質 ※ステンレス額 (SUS304) 寸法 ※2を5 Dm	② 素地ごしらえ	・仕上表による (18.2.2~7) 下地面等 種別		機じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm ・ ・タフテッドカーペット		厚さ ・2.8 ・3.5 ・5 ・7 ・ミディアムデンシティファイパー ・3 ・7 ・9 ・12 ・ ボード(MDF) ⑤	_		
	形状 ※はしこ形状複筋及び単筋 化粧日地モルタルの色 (・白 グレー) シーリングの種類 (・SR-1 - PS-1) 全異数化粧カパー 材質 ステンレス製 アルミニウム製		木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗りの場合 ・A種 ※8種 鉄調面 (DP以外) ・A種 ※B麺 ※C麺 鉄調面 (DPのみ) ・A種 ※B麺 ・C種		バイル形状	/	- ・/ンシュレーションボード ②			
	寸法 ※図示 形状 ※図示 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・図示による 且地部の横力骨の納まり ※ガラスプロック急速所の仕様による 図示		亜鉛めっき銅面 ・A種 ・B種 モルタル面及びせっこうプラスター面 ・A種 ※8種 コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ・A種 ※B種 野出成影セメント板面 ・A種 ※8時		下敷き对(グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆		- 単板張りパーティクルボード □ ・無研磨板 VN ・研磨板 VS - 10 ・12 ・15 ・18 ・ - 化粧パーティクルボード 回 ・単板+-パ-レイ DV ・プラステゥウォーパ-レ	f DO		
	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法		コンクリート面(D P のみ) ※A種 ・B種 ・B種 ・Bでのの・Bでは、 ・Bでは、 ・				- 治症 DC - 10 (難燃) · 12 (離燃) ·	_		
				V I	V			工事名	夏鷲宮駅東口立体施設整備工事 (建築)	
								路線名河名	市道鷲宮76号線	
								工事箇所	久喜市桜田1丁目地内	

 路線名
 市道鷲宮76号線

 工事箇所
 久喜市桜田1丁目地内

 図面名
 建築工事特記仕様書(4)

 縮尺
 S= N.S
 図面番号
 A - 4



図面名 建築工事特記仕様書(5) 図面番号 A - 5

(Q)	答盤	路床処理の		配合	10 砂利敷き 11 路面標示月塗料 23 1 植栽地の資語等 2 植栽基盤の整備 及び屋上 採化工	種別		
				(3) セメントミルクが鈍壊表面に残っていると、路面のすべり抵抗債を低下させることがあるので、純装表面の着材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、社砂の使用及び条則セメントミルクのよりいっそうの除去様、材料や施工法等で対処するが、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。	*	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 適用しない ・ 適用しない ・ 適用しない ・ 設けない ・ 設けない		
8	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ (22.4.2~4、6) (表22.4.1、4) 材料及び種類 アスファルト 『再生アスファルト 『標準仕様書 表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト		(4) 交通開放までの一般的な奏生期間は、下表に示すとおりである。 セメントミルクの種類 ・ 養生期間 ・ 音通タイプ	3 植込み用ニ 4 土壌改良材	・現場発生土の良質土 ・客土 ・ (23.2.3) 種類及び指定量等 ・パーク堆肥 G		
		骨材 ・ 追踪用砕石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材 G 加勢アスファルト混合物等の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルと混合物 (13) ・ 密粒度アスファルと混合物 (13F)		(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。 練園め度 模準仕様書22.4.2(2)による		施工管所 ※権数範囲 ・図示 使用度 植栽基壁面相 1m あたり(・50L・ ・汚走受酵肥料(下水汚泥コンポスト) (3 施工部所 ※権裁報囲 ・図示 使用度 植栽基盤面積 1 m あたり(・10L・) 対対		
		試験 アスファルト混合物等の抽出試験 行う ・行わない 韓弦の平たん性 ※適行の支障となる水たまりを生じない程度	8 弾性舗装	舗装厚さの背容差 ※標準仕標者 22 4 2(3) による 舗装の平たん性 ※適行の支障となる水たまりを生じない程度 弾性舗装(歩行者用適路)の構成及び厚き ※図示	5 樹木	『「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に 適合する原料を使用したもので、種音試験の調査の結果、客が認められないも のとする。 機種、寸法、株立教等 ※図示		
4	コンクリート舗装	構成及び厚さ (22.5.2~4)(表22.5.1~3) 舗装の種類 部位 構成 コンクリート舗装 本路、駐車場 ※図示 ・図示		区分 種類 厚さ(m) 表層 弾性鏡装材 15~20 基層 再生密粒度アスファルト混合物 (13) 30	6 支柱	支柱材 ※丸太(間伐对)⑤		
		・歩行者用通路 ※図示 ※70	⑤ ブロック系舗装	加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による - コンクリート平板舗装 G (22.8.2.3) ※図示	7 幹巻き用材料 8 芝	材料 ※幹巻き用テーブ ・わら及びこも ・ (23.3.2) 種類 ※コウライシバ ・ノンバ ・ (23.4.2.3) 芝張りの工法		
		- リアによる コンクリートの種類 設計基準強度 (Mm2) 所定のスランプ(on) ※8 種骨材の最大寸法 (mm) 早強ポルトランドセメント 使用する 使用しない		種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材	9 吹付けは種	平地 ※日地張り ・べた張り 透面 ・日地張り ※べた張り法面 (23.4.2) 種子の種類 (発芽率 種子の最(g/ml) 備考		
		注入目		・空練りも54	10 地被類	※洋芝類 (採取後2年以内) ※免募率60%以上		
Ę	カラー舗装	maguo+たがほ ※適行の支煙となる水たまりを生じない程度 /加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ・ ※図示 加熱系混合物の結合材		仕上り面の平たん性 ※歩行に支援となる段差がないものとし、コンクリート 平板間の段差は3mm以内とする。 ・	11 新植、移植樹木、 芝等の枯柱償	- (23.3.4.6) (23.4.7) (23.5.5) 新植樹木 (芝張り、文付けは種及び地被類を含む) の有荷偏の期間		
		・アスファル・混合物 ・石油機能系混合物 顔料の添加帽 (②インターロッキングブロック舗接 G 形状 原さ 曲げ強度 横断面 日地材 備者 が法 「min (Nim 2) 「の配 日地材 備者 (外im 2) 「の配 日地材 係者 であれたブロック(P) 駐車場 ・保水性ブロック(M) 歩行者 図示 (0) ※3.0 1.5~2% ・標準品 ・原水性ブロック(M) 用通路 ・原水性ブロック(M) 用通路 ・原水性ブロック(M) 用通路 ・原水性ブロック(M) 用通路 ・原水性ブロック(M)	12 屋上線化 頃	※引渡しの日から1年 - 春し 移植技术の括別観音を行う期間 ※引渡しの日から1年 - 舞し 植装基盤及び材料 ・ 屋上操化システム		
€	透水性 アスファルト舗装	透水性舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.7.2、3、6) 材料 骨材 - 適路用砕石 ・アスフフルトコンクリート再生骨材 G ・(標本性標本 表22.4、IIによる種類: ・60~80 ・\$0~100) 舗装の平たん性 ※著しい不確がないもの・		クッション材 ※砂 ・空練リモルタル 歩行者用通路に使用する普通ブロックは ③ (再生材料を用いた舗装用ブロック)、 透水性ブロックは ③ (透水性コンクリート)とする。 仕上り面の平とん性 ※歩行に支煙となる段差がないものとし、ブロック間の 段差は添加以内とする。		かんが装置 設置する (種類・ 工法 / 「屋根3:き材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造計力上の安全性を確かめるため の構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく 風圧力に対応した工法 / 図示による		
		開発度アスファルト混合物等の抽出試験・行う・行わない の法性コンクリート舗装とは対する基準値		- 図分 部位 厚さ (mm) 種類 数砂層 ・ 車路、駐車場 20 ・ 歩行者用通路 30 フィルター層 100 川砂、海砂スは良質な山砂 (75μπふるい通過量6%以下) ・ 不穂布 (ジオテキスタイル) 敷設位置 ・ 敷砂層と路筒の間に敷設 ・ フィルター係と路床の間に敷設				
		- 透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2、3) 透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による - 透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3) 透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による		単位面積質量 - 60g/m以上 - 0,5~1,0 - 1,0 - 1,0 - 1,0 - 1,0 - 1,0 - 1,0 - 1,5 - 1,0 - 1,5 - 1,0 - 1,5 -				
7	半たわみ性舗装	区分 機類 厚さ(mn) 表層 半たわみ性舗装用アスファルト混合物 I 型(13) 40 基層 再生粗粒度アスファルト混合物(20) 40 試験 (54.5%) (54.5%)		仕上り面の平定ん性 ※走行、参行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差に3mm 以内とする。 ・錆石舗装 一 種類 形状・寸法 厚さ (mm) ・ 張り方 基層 (mm)				
		#たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない 材料 浸透用セメントミルクの標準的な性状		・花こう岩 割石・図示 ・ うろこ張り 20分→版 ※70 ・ 7スファル混合物 ※70 ・ 7スファル混合物 ※70 ・ 20線 ・モルタル 仕上り面の平こん性 ※歩行に支鞭となる段差がないものとし、銀石間の段差は				
		項目 性状 試験方法 フロー値(Pロート)砂 10~14 鈍衰調査 試験法便覧 (2041) 圧縮強度(7日養生) MFa 9.8~29.4 JJS R 5201 曲げ強度(7日養生) MFa 2.0以上 純茶調査・試験法便覧 (2042)		3mm 以内とする。				
							工事名	頁鷲宮駅東口立体施設整備工事(建築)
							路線名河川名工事箇所	市道鷲宮76号線 久喜市桜田1丁目地内
							図面名	建築工事特記仕様書(6)
							4	0 N 0 THE HE 1 - 6